

平成 22 年 3 月 31 日現在

研究種目：特定領域
 研究期間：2004～2009
 課題番号：16089101
 研究課題名（和文） 火山噴火罹災地の文化・自然環境復元の総括

研究課題名（英文） Project managing for the study of “Restoration of Cultural and Natural Environment of the Area Covered by Volcanic Eruptions”

研究代表者

青柳 正規 (AOYAGI MASANORI)

独立行政法人国立美術館 国立西洋美術館・館長

研究者番号：40011340

研究成果の概要（和文）：特定領域研究「火山噴火罹災地の文化・自然環境復元」における①領域の全体的な研究の構想、計画を策定、②計画研究の相互間および各計画研究の企画連絡・調整、③復元の統合化・融合化のための手段・方法の策定、④当領域研究の評価などを行った。

研究成果の概要（英文）：We have done the following things for managing the programme of “Restoration of Cultural and Natural Environment of the Area Covered by Volcanic Eruptions” (Grant-in-Aid for Scientific Research on Priority Areas): 1) drawing up the overall plan of the research programme, 2) liaising with different research groups to coordinate their individual plans, 3) deciding on the methods to reconstruct cultural and natural environments in an integrated manner, and 4) evaluating the results of the research activities already undertaken under the programme.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2004 年度	5,700,000	0	5,700,000
2005 年度	5,900,000	0	5,900,000
2006 年度	6,100,000	0	6,100,000
2007 年度	7,200,000	0	7,200,000
2008 年度	7,200,000	0	7,200,000
2009 年度	9,800,000	0	9,800,000
総計	41,900,000	0	41,900,000

研究分野：古典考古学・西洋美術史学

科研費の分科・細目：環境学・環境動態解析

キーワード：火山噴火罹災地、環境復元、分離融合、研究総括

1. 研究開始当初の背景

(1) 火山活動の一つである火山噴火はその周辺地域にさまざまな被害をもたらす。噴火によって放出される火山岩塊、火山礫、火山灰などの堆積や火山泥流、土石流によって周辺地域の地形が大きく変化することもある。一方、火山噴火によって形成される堆積層は、

それまでの表土を被覆すると同時に地表面上に建立されていた構築物等を包含することがある。

当領域研究が研究対象地として選択したイタリアおよび日本の3地域の埋没遺構およびその周辺は、度重なる火山噴火の堆積物によって幾層もの層序をなしており、これら

の噴火堆積物によって研究対象であるローマ帝政時代、弥生時代、古墳時代、江戸時代等の文化と自然がほぼ完璧に保存されているというきわめて恵まれた自然条件を備えている。

(2) 上記のフィールド環境を考慮した場合、当領域を構成する歴史学、考古学、碑文学、火山学、地理学、空間計画、情報学の各分野は、これまで培ってきた蓄積を活用するだけでなく、文化・自然環境復元のため他分野への協力と、他分野の成果を利用するという新たな課題を追求することによって、従来の分野の研究範囲を拡大し、深化させることになる。従って、こうした研究範囲の拡大と深化こそが他分野との有機的な結合を可能にするものと期待された。

(3) 文化環境復元とは歴史学が課題とする共時的歴史空間（もしくは歴史個体）の復元と言い換えることが可能なテーマであり、歴史学研究に新たな展望を開くものである。この課題のために、考古学や碑文学は歴史学と協力して相関性のあるマイクロ・ヒストリーを構築し、その有機的な複合によってさらに実体に即した文化環境を復元する必要がある。

加えて、こうした文化環境は自然環境と密接な関連性を有していることから、自然科学の各分野の成果と統合することによってさらに具体性を獲得するだけでなく、自然科学の成果に歴史的意味と価値を付加することになる。このことによって、真の文理融合型研究が推進され、学術研究の可能性を大きく拡大することが見込まれた。

2. 研究の目的

当領域は人文社会科学と自然科学が共同して研究を行う学融合型および文理融合型の研究である。従って、文化・自然環境復元を実現するためには

- ① 全体の構想、分野間の重複部分もしくは距離の調整
- ② 情報・資料採集時の優先順位の決定
- ③ 研究手順のフローとタイム・スケジュールの調整・決定

が重要な鍵を握っており、総括班はこれらを構想・計画・策定・調整するとともに、領域全体にわたる研究成果のとりまとめや公表などに携わることを目的としている。

3. 研究の方法

このように多岐にわたる研究分野の研究者が参画する当領域においては、研究の円滑な推進のために、進捗状況に関する情報を全員が共有する必要があるため、各領域間の連絡・調整を総括班が企画・運営するとともに、領域全体にかかわる活動の広報や成果の発表などは、主に当総括班がこれを担当した。

4. 研究成果

(1) 日本やイタリアにおいて、毎年6月、9月、1月には、領域全体あるいは、個別各研究項目相互の検討・連絡会議を開催するとともに、そのほか、随時小検討会を開催し、研究全体の進展の円滑化を図った。

(2) 特に平成18年度以降は、より一層の情報共有化、研究成果の有機的連携を目指して、総括班内部の運営方法を見直し、各研究項目からの実務者レベルの関与も積極的に導入した。

(3) 一方、総括班独自の活動としては、平成16年11月にテレビ朝日系列においてイタリア、ソンマ・ヴェスヴィアーナ所在ローマ時代遺跡発掘調査に関わるドキュメンタリー番組が放映されたが、その制作に際しては、総括班が企画段階から大きく関わっている。

(4) また、平成17年の愛知万博グローバル・ホールにおける上記遺跡出土の大理石彫像の展示、その後の東京大学総合研究博物館において実施された展覧会、また平成19年春に東京大学教養学部博物館において開催された特別展における資料提供、平成19年11月に長崎県島原市で開催された第5回火山都市国際会議での研究プロジェクトの口頭発表およびポスターセッションへの参加などについても総括班が主導的に運営を進め、研究の周知、成果の公表に努めた。

(5) さらに、総括班が中心となって、平成16年以降、毎年2月に調査・研究成果に基づく国際公開シンポジウムを開催している。平成21年2月には、東京大学農学部弥生講堂一条ホールにおいて、当領域に参加している研究者をはじめ、国内外から招聘した研究者が、考古学、火山学、地理学、環境学、土木工学、情報科学など専門を異にする立場から調査・研究の成果と諸問題を総括し、今後の研究の展望を議論した。

(6) 総括班の企画によるホームページを製作し、インターネットを介して、こうした活動に関する情報を広く公開している。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

総括班は、その設定目的にもあるとおり、独自の具体的研究活動は行わないため、特に本項で挙げるべき論文等はない。

〔雑誌論文〕(計0件)

〔学会発表〕(計0件)

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕

○出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

(3)連携研究者
なし

○取得状況（計0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]

ホームページ等

<http://www.somma.l.u-tokyo.ac.jp>

6. 研究組織

(1)研究代表者

青柳 正規 (AOYAGI MASANORI)

独立行政法人国立美術館 国立西洋美術館
館・館長

研究者番号：40011340

(2)研究分担者

本村 凌二 (MOTOMURA RYOJI)

東京大学・大学院総合文化研究科・教授

研究者番号：40147880

鷹野 光行 (TAKANO MITSUYUKI)

お茶の水女子大学・文教育学部・教授

研究者番号：20143696

馬場 章 (BABA AKIRA)

東京大学・大学院情報学環・教授

研究者番号：10208704

亀井 宏行 (KAMEI HIROYUKI)

東京工業大学・大学院情報理工学研究科・
教授

研究者番号：60143658

藤井 敏嗣 (FUJII TOSHITSUGU)

東京大学・地震研究所・教授

研究者番号：00092320

武内 和彦 (TAKEUCHI KAZUHIKO)

東京大学・大学院農学生命科学研究科・
教授

研究者番号：90112474